

試験名	令和8年度 看護学研究科 博士前期課程入学試験
入試種目	秋期選抜 / 冬期選抜
問題種目名	前期課程（共通問題） / 前期課程（英語問題） / がん看護学領域
出題意図及び解答例または採点の観点 （試験問題自体を公開しない場合はその理由）	
設問 I <出題意図> がん看護学を専門領域として学修・研究するために必要な基礎的理解、思考力および学術的適性を問う。	
<解答例（採点時の観点）> 【問1】 1) 症状・言動・背景の事実をもとに「起きている現象」を3つ、偏りなく課題として言語化し、症状・行動・関係性を分けて整理できていること。 「なぜ課題と捉えたか」「放置した場合の影響」が論理的につながっていること。 例えばA氏の「大丈夫」「続けたい」という言動の意味や、家族の立場・関係性を考えることができているか、A氏が支援を受けにくい状況が生じていることへの気づきが記載にあることが望ましい。	
2) 課題を患者個人の問題に還元せず、家族・医療者・職場との関係性の中で捉え、家族・医療者・社会を含めた関係性の広がり捉え説明していること。課題が相互に影響し合う構造として説明されていること。誰かを責める構図になっていないこと。 課題について、因果関係ではなく循環・相互作用として構造を説明していること。 例えばA氏の役割意識や価値観が家族・職場・医療者との関係に影響していること、周囲の「配慮」「遠慮」「沈黙」などが結果として関係性において課題を強めている可能性があることなど、課題が固定化されていくプロセスなどが記載にあることが望ましい。	
【問2】 用語について、定義や概念を正しく理解し、文章で説明できていること。	